

南阪奈道路（主要地方道美原太子線・一般国道166号）

事業名	大項目 （事業共通）	小項目	効果の指標	具体的な効果	受益者
道路事業 街路事業	費用便益分析				
	活力 安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 走行時間費用減少</li> <li>・ 走行経費減少</li> <li>・ 交通事故損失額減少</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 費用便益比（B / C）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ B / C = 3 . 4 1 （美原太子線） （便益 B = 1 8 3 7 億円 費用 C = 5 3 8 億円） 費用便益分析マニュアル（案）（建設省道路局作成）により算出</li> </ul>	利用者
	定性的評価等				
	安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災空間の確保</li> <li>・ 災害発生時の緊急交通路</li> <li>・ 救急活動、医療活動等の広域化</li> <li>・ 現道の安全確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不燃領域率の増加</li> <li>・ 広域緊急交通路</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道路部は不燃領域となり、延焼防止効果を有する。</li> <li>・ 災害発生時に、緊急車両の通行を確保することにより、物資・負傷者の運搬等において、大阪府と奈良県を結ぶ広域緊急交通路として機能し、迅速な対策を支援することができる。</li> <li>・ 走行時間の短縮により、府県間レベルでの医療施設等の利用が、容易となる。</li> <li>・ 現道の交通量の減少により、交通事故が低減される。</li> </ul>	周辺住民 府民 府民 周辺住民
	活力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 輸送効率の向上</li> <li>・ 工場立地、住宅開発などの沿道土地利用の促進</li> <li>・ 地域間の交流・連携の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 走行時間短縮</li> <li>・ 市街化区域の面積増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大阪府美原町と奈良県大和高田市間の移動時間が、約30分短縮される。（52分⇒23分）</li> <li>・ 大阪府羽曳野市埴生野地区において羽曳ヶ丘団地が計画されている。（団地380戸 規模12.8ha）</li> <li>・ 大阪府と奈良県との、人・物の交流の促進が見込まれる。通勤や、買い物等の生活範囲の拡大が予測される。</li> </ul>	利用者 府民 府民
	快適性 （生活環境）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 渋滞解消に伴う交通公害の軽減、エネルギーの節約</li> <li>・ 騒音、振動等沿道環境への影響</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 燃料消費量の減少</li> <li>・ 予測値</li> <li>・ 交通混雑度の改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ガソリン ドラム缶（200ℓ）で約14000缶/年（美原太子線） ドラム缶（200ℓ）で約 4000缶/年（国道166号）</li> <li>・ 騒音予測対象地域において、環境保全目標（旧基準）を越える箇所が予測される。</li> <li>・ 1 . 2 1 ⇒ 0 . 8 1 （現国道166号）</li> </ul>	利用者 周辺住民
	環境 （自然環境）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生態系への影響</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新設道路のため、道路面積に相当する分の山林等の面積が減少する。 美原太子線面積 約14.8万㎡（内 山林 約34%） 国道166号面積 約12.8万㎡（内 果樹園及び荒地 約100%）</li> </ul>	
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歴史、文化</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 古墳や寺院など周辺に多く存在し、交通利便性の向上により、歴史的文化的財にふれる機会が増える。</li> </ul>	周辺住民、観光客等	